

第2学年 保健体育科学習指導案

日 時 平成20年9月12日(金) 1校時

学 級 2年1・2組 女子 34名

授業者 櫻庭道子

単元名 球技「バスケットボール」

単元について

球技は、ボールを使つての攻防を通して多くの運動技能を身につけることができる運動である。また、仲間と協力して練習やゲームを行うことで、勝敗に対する公正な態度を身につけ、目的を一つにしてみんなで声をかけ合い、工夫しながら取り組むことが期待される。

バスケットボールでは、シュートやパス、ドリブルなどの個人的技能を習得する他、ディフェンスやオフENSEの形を工夫することにより、チームみんなでゲームに参加したという感覚を持たせることができる。

授業においては、ゲームを多く取り入れてバスケットボールの楽しさを味わわせたいが、ゲームで個人的技能や集団的技能を活用させるためには、教師が丁寧に教える場面と生徒に考えさせる場面を設定する。ゲームの場面で生かせるシュートやドリブル、パスをもらうための動きなど、目的を明確にした練習に取り組ませたい。

生徒について

2年生の女子は明るく活発であり、運動することが好きな生徒が全体の70%を占め、意欲をもって授業に臨んでいる。が、反面、体力に自信がある生徒は21%と低く、新体力テストでは、筋力や巧緻性が県平均、全国平均共に下回っている実態がある。

1年次のバスケットボールの授業においては、パスやドリブル、シュートなどの個人的技能を中心に指導を行ったものの、時間が不足であったため、十分には身に付いているとは言えない。

従って、今回のバスケットボールの授業では、ウォーミングアップにボールコントロールを取り入れて行い、正規のゲームへと急ぐことなく個人的技能の習得に十分に時間をかけたい。また、簡易ゲームを多く取り入れ、練習がゲームに生かされるような指導過程の工夫も心がけてきた。また、課題練習を通して生徒の気づきを促し、「考えてわかったことをことばにして仲間に伝える」という活動を目指したい。

指導の構想

新学習指導要領では、ゴール型の球技において「ボール操作と空間に走り込むなどの動きによってゴール前での攻防を展開すること」とある。このことから授業においては、まず個人的技能を教師が丁寧に指導し、その既習の技能をゲームで活用できるようにプロセスを工夫する。

毎時間のウォーミングアップには個人的技能及び集団的技能のドリルを取り入れて運動量を十分に確保しながら技能の習得をねらい、展開部分の課題練習においては、ゲーム場面での活用を意識させ、練習の目的とポイントを考えさせることより、意欲的に活動を行わせたい。その際に確認したポイントはルーブリックとして共有し、お互いにアドバイスできるよう仕組んでいく。

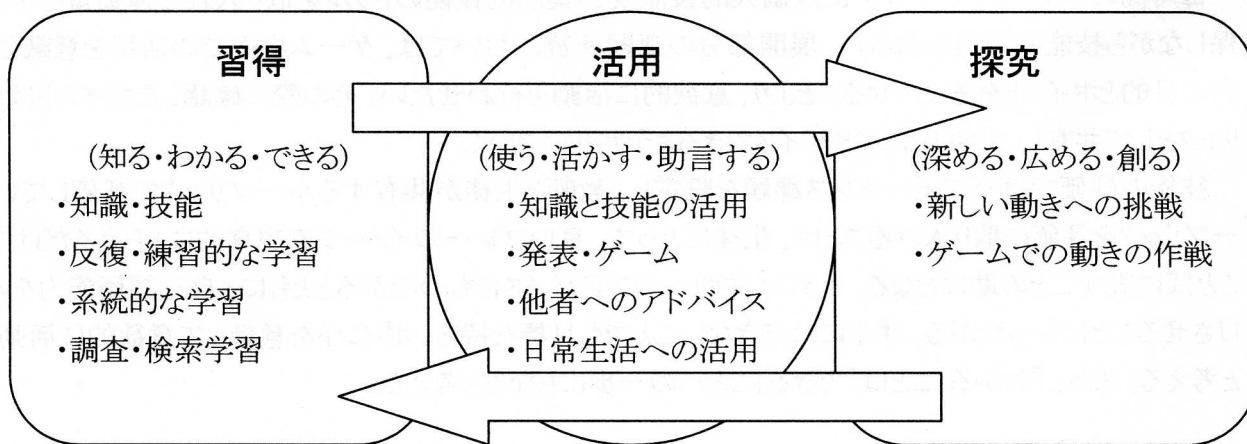
技能の評価ではパフォーマンス課題を設定し、教師と生徒が共有するルーブリックで評価していく。ルーブリックを評価に取り入れることは、生徒にとって、良いプレーのイメージを視覚的にとらえるだけでなく、ことばに表すことの助けとなる。それは仲間へのアドバイスにもつながるとともに、自己評価能力を身につけさせることにもつながる。すぐにはできないことでも目標を持ち、ポイントを意識して意欲的に活動できると考える。また、「わかる」ことは「できる」ことへの一歩にもなると考えた。

指導計画、評価計画

(1) 単元の指導計画・評価規準

時間	主な学習内容	学習における具体的評価規準			
		関心・意欲・態度	思考・判断	運動の技能	知識・理解
1	○オリエンテーション ・学習の進め方 ・学習の見通し	○バスケットボールの特性や学習の進め方について理解し、目標をもつことができる。 (日誌・観察)			○バスケットボールの特性や歴史を知る。
2・3	○準備運動の確認 ○ボールコントロール	○準備運動の意義を知り、しっかりと行おうとしている。(観察) ○各種のボールコントロールの方法を理解し、意欲的に取り組むことができる。(観察・日誌)	○準備運動の目的を理解してしっかりと行うことができる。(観察・日誌) ○ボールコントロールの必要性を考え、言葉にすることができる。(発言・日誌)	○それぞれのボールコントロールを効率よく行うことができる。(観察)(毎時間)	
4・5・6	○個人技能 ・ドリブル ・シュート ・1対1	○自分の課題をみつけ解決を図るために練習に取り組もうとしている。(観察・日誌)	○基本技能のポイントを理解し、ことばに表現することができる。 ○仲間どうし教え合うことができる。 (観察・日誌・ルーブリック)	○左右の手でドリブルすることができる。 ○レイアップシュートとセットシュートができる。 ○1対1のオフェンスとディフェンスの動きができる。(観察・ルーブリック)	○基本技能のポイントを理解することができる。
⑦・8 (本時)	○集団技能 ・パス(2人、3人) ・2メン ・3メン ・三角パス (四角パス)		○ディフェンスの動きを考えてより効率的なプレーを選択しようとしている。 (観察・日誌)	○状況に応じて判断し、パスやシュートを選択して正確にプレーしている。 (観察・ルーブリック)	
9・10	2対1のハーフゲーム 3対2のハーフゲーム オールコート3対2	○2対0、3対0の動きを理解し進んで練習することができる。 (観察・日誌)	○2対1、3対2の攻防の中で、互いの技能の特徴を生かした作戦を立てながら練習を工夫することができる。 (観察・日誌)	○アウトナンバー(DFが少ない場面)の状況を生かし、積極的にボールをもらってシュートするプレーを実践することができる。 (観察)	
11・12	ミニゲーム	○5人の守り方や攻め方を理解し、積極的にゲームや練習に関わろうとしている。 (観察・日誌)	○アウトナンバーをつくるための作戦を考え、ゲームに活用できるよう練習を工夫している。	○お互いの技能を生かしながら、組織的な攻防を実践することができる。	

(2) 単元における「習得」「活用」「探究」の学びの流れ



本時について

(1) 主 題 ドリブルとパス、シュートを使い分けて 2 人で攻撃する。(オールコート 2 対 1)

(2) 目標、パフォーマンス課題、ルーブリック評価

① 目標

- 練習の目的や意義を理解し、積極的に練習に参加することができる。(関・意・態)
- ディフェンスの動きに合わせて、効率的なプレーを選択することができる。(思考・判断)
- ドリブルシュートやドリブルからのパスをタイミング良くゲームの中で使うことができる。(技能)

② パフォーマンス課題

「2 対 1 のゲームで、ディフェンスをかわしてシュートを決めよう」

③ ルーブリック評価

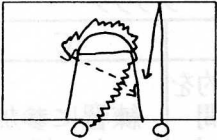
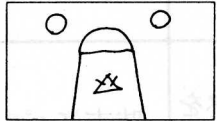
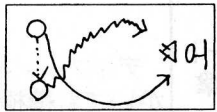
学習活動	評価項目	評価する活動・資料	ルーブリック			
			A	B	C	D
ハーフコート 2対0 2対1	関心意欲態度	活動の観察	練習の目的を理解して、工夫すべきところを発言して積極的に練習に取り組むことができる。	練習の目的を理解して仲間のアドバイスを聞きながら、プレーを成功させようと努力している。	練習に参加し、ゆっくりでもプレーを最後まで続けようとしている。	練習の方法が分からず、意欲的に練習することができない
	思考判断	活動の観察 体育ノート	味方にパスをすることと自分でシュートに向かうタイミングをねらいながら、自分でプレーを選択することができる。	味方にパスをするタイミングがわかり、自分でプレーを選択している。	味方にパスをするタイミングがわかり、パスをしようとしている。	パスかシュートか迷ってしまう。
ミニゲーム オールコート 2対1	技能	活動の観察 体育ノート	ボールを保持してから、ディフェンスの位置を確認し、より効率的なパスやシュート方法を選択してタイミングよく攻撃することができる。	ドリブルシュートで自分で攻撃しようしたり、味方の位置を考慮してシュートにつながるパスをすることができる。	ディフェンスがいても積極的にシュートにしようとする。また、声を出してパスをもらう動きをしている。	自分でどう行動すれば良いかわからずに、動きが止まってしまう。 パスすることだけを考えて人を頼ってしまう

(3) 本時の構想

前時までは、ドリブルやシュートの基本技能を学習してそれをもとに 1 対 1 でミニミニゲームを行った。また、本時につなげるためにウォーミングアップに 2 人でのボール運びを導入している。

本時は、これまでに学習してきた個人的技能であるドリブルシュートやパスをオールコートの 2 対 1 の簡易ゲームで活用する学習である。ゲームの流れの中で、「どんな時に」そのままドリブルで攻めていくのか、「どんな時に」パスをしたほうがいいのか、考えさせながら判断し活用できる能力を養いたい。

(4) 本時の展開

段階	時間	学習内容	学習活動	・指導上の留意点 ☆評価	教材・教具等
導入	15分	準備 準備運動 あいさつ ボールコントロール～2メン 本時の確認	必要な物品を準備する。 準備運動を行う。 あいさつをする。 本時のテーマを確認する。	安全確認をする。 教科リーダーを中心に活動しているか確認する。 整列、姿勢確認。 一人ひとりの動きへの声かけをする。	・黒板 ・ビブス ・ボール
2対1でディフェンスをかわしてシュートを決めよう!					
展開	30分	ドリブルシュートからの発展 ・ドリブルからパスをする練習	ハーフコートの2対0 	全体に説明後、グループ活動。 ☆方法を理解して積極的に練習に参加しているか (観察・支援) ☆ドリブルからタイミングよく味方にパスを出しているか (観察・支援)	・作戦板 ・紙板書
		・ディフェンスをいれての練習	ハーフコートの2対1 	☆ディフェンスの動きを見て「パス」か「シュート」を選んでプレーをしているか。(観察・支援) ☆パス、ドリブル、シュートの選択をしようとしているか。(観察・支援) ☆効率の良いシュートを選択して行っているか。(観察・支援)	
		ディフェンスを入れてのミニゲーム	オールコート2対1 	☆ディフェンスの動きを見て効率的なプレーを判断しようとしているか。 味方にパス ドリブルシュート パスをもらう動き (観察・ループリック) ペアで動きを確認したり、工夫する時間を確保する。	・板書
終結	5分	ふりかえり	本時の学習のふりかえり 次時の活動について	本時の練習を思い起こさせ、動き方のポイントを確認する。 オールコートでの3対0から3対2の動きに発展させた時の攻防について工夫していくことの確認をする。	体育ノート プリント